

営農技術情報

－畑作（春まき小麦③）－

令和3年 6月 8日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター TEL01654-3-4307

今後の栽培管理について

1 生育経過

5月下旬の低温寡照により生育は鈍化し、現在の生育は平年より3日進んでいます。草丈は平年並、茎数が多い状況です。

表1 生育状況（作況ほ、6月1日現在）

	は種期	出芽期	幼穂形成期	止葉期	出穂始	草丈 (cm)	葉数 (枚)	茎数 (本/m ²)
本年	4/12	4/28	5/29	-	-	31.2	5.2	1,000
平年	4/26	5/7	5/29	6/12	6/19	31.2	-	845
遅速	早14日	早9日	±0日	-	-	±0	-	+155

2 窒素追肥と倒伏軽減対策

生育後半の追肥は、遅れ穂発生の助長、成熟期の遅れにつながります。追肥する場合は早めに実施し、倒伏軽減対策として植物成長調整剤を使用しましょう。

表2 植物成長調整剤（JA道北なよろ農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより）

薬剤名	使用時期	10a 当使用量	10a 当水量	使用回数
サイコセルPRO	小麦6葉期前後 (草丈 30~40cm)	150mL	100L	1
カルタイムフロアブル	止葉期(止葉 50%展開) ~出穂始期	150mL	100L	1
エスレル10	止葉期	200~333mL	25L または 100L	1
	出穂始期	100~200mL		

※出穂始期は、初めて出穂(穂先が止葉の葉鞘から抽出した状態)を見た日から20%出穂日まで。

3 うどんこ病、赤さび病の防除

ほ場での発生状況を確認し、発生が見られるほ場では止葉抽出期~穂ばらみ期に防除を行いましょう。

表3 うどんこ病、赤さび病の防除薬剤例（JA道北なよろ農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより）

薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
チルト乳剤25	2,000倍	収穫3日前まで	春期以降3

※使用倍率は、北海道農作物病虫害・雑草防除ガイドの赤さび病推奨倍率。

◎ 農薬は使用基準を守り、農薬飛散に注意しましょう ◎